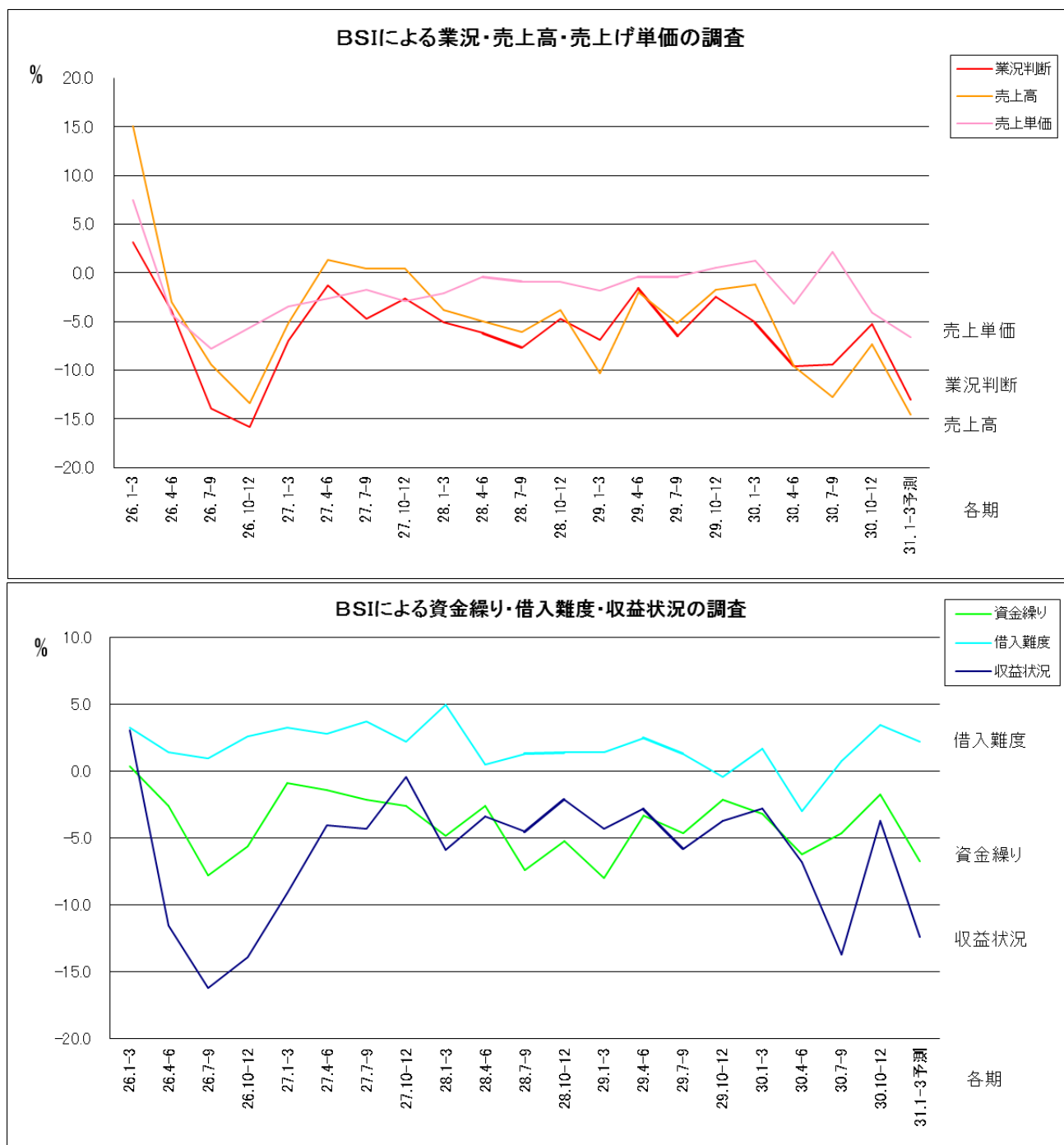


今期の業況判断は「4.1 ポイント」上昇。

来期は全ての項目で下降予測。各業種の業況判断も下降予測。

中小企業景況調査 30年10-12月期(31年1-3月期予測)

—鳥取県下4商工会議所の調査より—



*BSI=(上昇・増加-減少・下降)×1/2 (但し、「上昇・増加」+「横ばい」+「減少・下降」=100)
 経営者の業況に対するマインドを反映するもの。(0%は「上昇・増加」と「減少・下降」が同数。「+」は上昇・増加、「-」は減少・下降)

■業況(グラフ参照)は……

30年10-12月期は、「売上単価」を除く「売上高」「収益状況」「業況判断」「借入難度」「資金繰り」が上昇しました。特に製造業の「借入難度」は前年同期と比較して「7.1ポイント」と大きく上昇しました。

来期は全ての項目で下降が予測されています。特に製造業の「売上高」は前年同期と比較して「21.3ポイント」と大きな下降が予測されています。

各業種の業況については、

製造業が3期(30年4-12月期)連続で上昇しましたが、来期(31年1-3月期)は「10.7ポイント」下降が予測されています。その他の業種もすべて下降することが予測されています。

■直面している経営上の問題点

- 1位:競争激化(13.19%)
- 2位:売上・受注の減少(12.90%)
- 3位:人手不足(12.02%)
- 4位:原材料・仕入れ価格上昇(10.85%)
- 4位:経費の増加(10.85%)

■各社からのその他の問題点

- ・増税に伴う税制の件。カードポイントでのお買い物は何%かを還元するとのことですが、カード決済すれば現金決済時よりも資金繰りが異なってくると思います。また、年配の方々皆カードを使えるのでしょうか。カードを持っていない人がいれば、還元できる人もいれできない人もいる状態になり、不公平だと思います。(小売業)
- ・カニの豊漁に伴う、漁獲制限に関係した活ガニの値段高騰が心配される。(サービス業)
- ・最低賃金の上昇に伴い、元請け先への加工単価値上げに成功するが、業績面ではカバーできていない。行政には、元請けやメーカーに対しての物価上昇の促し、管理・人件費増大に対するサポート、また行政(補助等)の簡易化を強化していただきたい。(製造業)
- ・労務管理の難しさ(働き方改革など)が利益を圧迫している。(食品卸売業)
- ・仕入れ価格の増大(原料高等)と末端価格(小売店での販売価格)低下による卸売価格安。(食品卸売業)
- ・新規事業をするにしても人の確保が困難。(警備業)
- ・社員全員へ有給5日の対応に時間を取られてしまう。(警備業)
- ・1月、2月は雪などの影響により一年で最も暇な時期。好転の兆しはなし(飲食業)
- ・新市役所工事が目前にあるが、1社では規模が大きすぎる工事で、同業者が協力しても予算が少なく困っている。(建材製造業)
- ・原材料が品薄(特にボルト等)で、今後仕入れ価格の上昇及び工期延期が予想され、収益圧迫を招きかねない。(建設業)
- ・地場産製品製造業者が縮小しつつある。人件費・運送経費・産廃処理費等の増加により収益悪化、経営意欲の減衰に見舞われている。地元小企業は県外大手との消耗戦に太刀打ちできない。地元企業向けの経済活性化対策を希望する。(家具製造業)